



市民総参加子ども育成運動

子どもへのまなざし運動特集

収穫の秋、スポーツの秋：
いろんな秋を子どもたちといっしょに
探しに出かけてみませんか。

問い合わせ

佐賀市教育委員会 社会教育課

TEL 40・7354

わたしは「小さなママ」よ！ 神野公民館

神野公民館で「赤ちゃんサークル・ホットサロン」が開催され、11人の赤ちゃんとママ、そして地域の草場福寿会の人などが集まる中に、神野小学校4年と6年の女の子の姿がありました。学校と保護者から許可をもらい自分からすすんで参加した感心な子どもたちでした。

最初に保健師さんから3kgの人形を使って「赤ちゃんの抱っこ仕方」など細かい指導を受けました。そしていよいよ緊張しながら赤ちゃんを抱っこしてやさしく話しかけました。「こんにちは」「パパバブ」「おなまえは？」「パパバブ」「おとしはいくつ？」「パパバブ」子どもたちはすっかり小さなママになりきっていました。感想を尋ねると8人が口をそろえて「楽しかった」と言い、また「めったにできない赤ちゃんとのふれあいできて本当によかった。来年もまた来たい」と言いました。

子どもたちはサロンに参加して、きつと「まわりも二まわりも大きく成長した」ことでしょう。

まなざしリポーター 野 勝



めざせ！ 北小お花マイスター認定証

北川副小学校

北川副小学校では毎月2回、子どもたちが地域の人と一緒に、お花を生け、校内にかざる「お花をかざるう」という活動があります。

平成24年5月から始められたのですが、子どもたちは、お花を生けるのがぐんぐん上手になっています。「たくさん入れすぎるとお花が苦しうだよね」「緑の葉も入れてみたら」地域の人のアドバイスにコツクリとうなずきお花を生けていく表情は真剣。出来上がったお花を手に「どこにかざろうかな？」と嬉しそうです。そんな活動の励みにと、北小お花マイスター認定証を授与することになりました。参加回数ごとにブロンズ、シルバー、ゴールドと賞があります。昨年度、第1回には、ブロンズ賞3名が表彰されました。第2回の表彰式は今年11月の予定です。さて何人が表彰されるか楽しみです。

地域と子どもたちが咲かせる心の花。北川副小に次々と咲き続けています。

まなざしリポーター 新郷 典子



手と手をつないで7年目 富士町

この7月に7年目を迎えた富士町の「ふれあいるーむ」は、官民の厚い信頼で協働が続いているめずらしい子育てサロンです。

開設に至ったきっかけは、お母さんたちが「この地区にも子育てを楽しめる場所がほしい」と社会福祉協議会に相談したことです。その思いを受け、開設して下さることとなり、今や所長さんが時にはサンタや鬼に扮して、行事を手助けされるまでになりました。

「お母さんと子どものため、ただそれだけです」とすがすがしくおっしゃる運営スタッフの方々も、若い世代の知恵を使い、ブログで活動情報を発信するなど積極的で、図書館から絵本の出張貸し出しの協力も得ています。

場所は富士支所が提供。子どもたちの来所でにぎやかにうたったそうです。あたたかい地域の子育ての場が、いつまでも続いてほしいと思いました。

まなざしリポーター 熊本 由美子

